

ぎんれいゆ会 平成三十年七月

大揺れの枝に安座や合歓の花

主幸 細野恵久 福祉三期

諸挿すや泥付く顔を笑い合う

増田和子 食文一期

合歓の花樵夫の道を塞ぎけり

改正節夫 国際三期

仮の世を生きて八十茄子の傷

三枝邦光 美工五期

白シャツの干さるる船屋湾巡り

國永靖子 音文六期

貸農園決まりあるかに茄子胡瓜

猿橋二三雄 福祉八期

茄子タイプ奈良平安の美女軍団

加藤善巳 美工八期

句意枯れし身にマクナギの何時までぞ

太田 實 国際十期

結葉や近道をぬけ能楽堂

大下絹子 国際十五期

塀に沿ひ葉剣つらねしグラジオラス

中村建生 国際十五期

海開き待てず浜辺にテント村

藤本武子 国際十五期

梅雨の日々浸る昭和史妻の留守

山下 進 国際十五期

梅雨茶室水琴窟の独り言

許斐國照 食文十五期

焼き茄子のぶすぶすとうなる声愛し

宮本公子 健福十七期

無駄もまた人生に花茄子の花

沖本牙辺子 国際十七期

短夜の語らい尽きぬ旅寝かな

香春早苗 国際十七期

新興地ちひさき庭の茄子実る

仲田愼輔 国際十七期

裸婦像のひかがみ清し男梅雨

中村富美子 国際十七期

艶やかな朝挽ぎ茄子や無人店

小栗恭子 健福十八期

朝取り茄子今日は中華と六つに切る

潮江敏弘 健福十八期

飛沫上げ飛び込む子らの夏の川

野見山剛 健福十八期

バーベキュー端に一切れ焦げた茄子

大山吉春 国際十八期

影武者も多くるそなたの蟻の列

今井義和 美工二十期

子離れの妻に笑顔や丸茄子

尾崎育久 美工二十一期

傷つきし人差し指や茄子の刺

黒木早苗 食文二十一期

待ち合わせ噴水越しに手を上げて

宮脇暁美 食文二十一期

亡き姑の色になりける漬け茄子

大歳敦子 健福二十二期

第二百五十一回ぎんれい句会(七月十三日開催)よ

り